

## 行政改革実行プランへの質問シート(行政改革推進委員)

NO	質問項目	質問内容	担当課	回答
1	情報交流の推進	民間視点で発想出来る力を育成するとありますが、具体的にどのような体験交流をしているのですか。又こうした研修を通して仕事に生かされた場面等がありましたら聞かせてください。	総務課	昨年の本栖湖アクティビティ研修参加者を、今年度は講師側として一般客への接遇や観光PRに生かしたり、観光営業の研修を民間企業と共同行うことで、PR方法の工夫やコスト削減等に役立たせている。
2	特産品の生産拡大	目標面積3.3haを上回る実績を出しています。早期に目標をクリア出来た理由はどこにあるのですか。又、生産組合はどのくらいあるのですか。	産業課	町内において設立された生産組合は、1組合(身延町枝豆生産組合)です。身延町枝豆生産組合は、枝豆収穫体験を実施している5つの団体で構成されています。特産品の生産拡大が、早期に目標をクリアできた要因として、生産組合の各加入団体が遊休農地の借受け等を積極的に推進し、生産の拡大がされた結果であると考えております。
3	パブリックコメント制度の活用と推進	町のホームページでは何件かの意見募集がされていましたが、意見の提出はなかったとのこと。制度の活用を図るには、何か工夫が必要と思いますが、方策があれば聞かせてください。	政策室	本町のパブリックコメントの実績としてホームページに掲載されている件数は、平成24年度から現在までで、7件です。いずれも、ご意見の提出はありませんでした。パブリックコメントの公表場所は、主に町のホームページ、担当課、支所、出張所となっております。公表時期が不定期で公表場所が上記の箇所という事で、意見の提出が無かった事は、町民の皆様が把握しにくい事も要因と察します。当面は、パブリックコメントの意義について広報にて掲載し、常時関心を持っていただけるよう周知を図っていきたくと考えております。
4	分かりやすい広報紙、ホームページ作成の推進	予算額は前年比と比較できるように。大きく変化した所はなぜか分かるように。給付金等はその金額の内訳等具体的表示を(ないものもある)全体的にもっとわかりやすくアピールしてほしい	政策室	広報につきましては、分かり易い紙面づくりを目指してお知らせをいたしております。ご指摘の内容につきましては、担当課と十分検討を重ねて、的確で分かり易い広報にしていきたいと考えております。
5	町営施設の利用促進	下水道加入件数63.8% 身延町のホームページでは、25年度決算しか掲載されていないが、(もう7月になるので26年度決算も掲載されていい)単年度では、すべての特別会計が黒字になっていると説明しているが、借金部分をきちんと明記すべきではないか。おそらく下水道の特別会計は大変な赤字になっているのではないか。よって加入率の早期加入増を促進しないと大変(夕張市も特別会計の借金をすべて表に出していなかった様です)	環境下水道課	H27.3月末の下水道加入率は下部処理区37.8%・中富処理区65.7%・帯金塩之沢処理区83.8%・角打丸滝処理区88.3%・身延処理区48.7%・上之平農業排水施設88.6%・北川小規模排水施設88.2%で全体の加入率が63.8%となっております。身延町下水道条例では供用開始から3年以内に接続しなければならないとなっておりますが、罰則規定ではありません。接続が困難な理由としては、宅内工事資金の捻出が厳しい、後継ぎ予定者が他町に居住しているため将来は居住する予定がない、高齢世帯のため将来は他町へ転居する予定等が挙げられます。促進の取り組みとして担当職員が直接個別訪問を実施すると同時に、町広報への掲載を度々行ない理解を求めています。今後も引き続き周知や依頼を根気よく続け、多くの人に参加していただけるよう努力をしてまいります。
6	分かりやすい財政状況の公表	行政改革の中心は「情報公開と説明責任」にあると思います。分かりやすく、情報公開を願いたい。(町民に分かりやすい表示を)	財政課	決算につきましては、地方自治法第233条に「会計管理者は、出納閉鎖後3箇月以内に、決算を調整し、町長に提出しなければならない。町長は、監査委員の審査に付さなければならない。監査委員の意見を付けて議会の認定に付さなければならない。」と規定されています。これに基づき、監査委員による決算審査が今月27日から31日にかけて行われ、その後9月の定例議会に上程し、認定された後に決算が確定されますので、その後公表いたします。
7	自主財源の確保	H26年度末基金残高56億 その中の一部を太陽光発電に投資(高率がよく安定、運営も安定)し、自主財源の拡大を図ったらどうか。 一昨年度そんな提案をしたら、行政は町民の福祉向上が第一という返事があったが、これだけの財政悪化の中、他の市町村も自主財源確保に必死になっています。ぜひ再検討をー	財政課	身延町にとって、自主財源の確保は非常に重要な問題であり、税等の徴収率アップに取り組んでいるところであります。ご提案の太陽光発電につきましては、本町でも26年度に身延福祉センターへ太陽光パネル及び蓄電池の設置を行ったところであります。この施設では売電は行っておりませんが、発電した電気は、施設で利用しております。今後の設置につきましては、費用対効果等を調査し、十分検討していく必要があると思います。基金につきましては、町民福祉の向上のため、それぞれ特定の目的をもって設置されているものであります。
8		平成27年度「町の予算の使い道」で町長のあいさつの中に、本町での地方債残高は129億6915万となっているが、一般会計のみの経常収支比率が(H24、73.3%)だが特別会計の借金も含めた129億を入れた経常収支比率はどの位になるのでしょうか。(注)夕張市は119.9%だったそうです。	財政課	経常収支比率は、地方財政状況調査いわゆる決算統計で算出される指標の一つであります。これは地方自治体の財政の弾力性を示すもので総務省の指導では、市町村は75%を上回らないことが望ましいとされています。本町の経常収支比率はH24年度73.3、H25年度72.3、H26年度74.4となっております。2006年6月に夕張市が財政破たんしたことにより、自治体財政健全化法が制定され、普通会計だけでなく、病院や水道などの特別会計なども含めた財政の健全性を示す指標が設けられました。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率であり毎年広報等で公表しております。本町では、この4指標とも健全かどうかの目安である早期健全化基準を下回っております。

NO	質問項目	質問内容	担当課	回答
9	第3表 コスト意識の高揚「運営」 から「経営」への意識チェ ンジ	* なかとも現代工芸美術館がやや使用料等向上が見られるが、 他は減少ないし変化なしの状況。 * 運営費についても変化なし、状況説明も横並び内容である。 もっと意識変革し工夫してほしい。	生涯学習課	<p>◇総合文化会館</p> <p>①施設使用料等の向上目標 例年ホールを利用していただいていた団体(歌謡教室)が使用しなかったため使用料が減少した。 ホールは土日の稼働率(利用申込)が高く、利用を希望しても既に予約が入っているため使用できない場合が多い。今後、平日でも利用可能なホールでのCD録音等の利用をロコミやHPによって呼びかけ利用の拡大に取り組んでいく。</p> <p>②管理運営費の抑制目標 当施設は設置後20年が経過し、経年劣化による主要な機械設備等の交換、修繕が必要となっている。安心・安全に施設を利用していただくために必要な臨時的費用だが、運営にあたってはこれまで以上に異常の早期発見に努め、経費削減に努めていく。また、光熱水費については経費に占める割合が高い電気料の縮減にこれまで同様に取り組んでいく。(具体的には照明の間引き、空調のこまめな入り切り等)。</p> <p>◇微笑館</p> <p>②管理運営費の抑制目標 微笑館は木喰上人に関する資料を後世に適切に保存継承するとともに、資料の展示公開によって上人の遺徳を広めていくための施設です。資料の保存と活用を必要最少限の予算で運営しており、大幅な経費削減は困難ですが、今後、入館者の少ない冬季(12月～2月)の閉鎖による経費の削減を検討していくが、木喰は県外のファンが多く、本町の重要な歴史文化資源であり、冬季閉鎖という手段をとる前に、事前予約制に移行して様子を伺うことも併せて検討していく。</p> <p>◇なかとも和紙の里(活性化施設)</p> <p>①施設使用料等の向上目標 震災後の消費控えから来客数が減りだし、立ち寄る観光バスも減少した。今後インターネットやSNSなども活用し、施設のPRを今まで以上に行っていく。 また、観光会社や県内の小学校、中学校などにチラシやパンフレットの配布し、更に施設や商品のPRをしていきたい。</p> <p>②管理運営費の抑制目標 照明をこまめに消す。冷房や暖房などの使用を必要最低限にするなど光熱水費に係る経費を今まで以上に減らすことによる引き続き努力する。</p> <p>◇なかとも現代工芸美術館</p> <p>②管理運営費の抑制目標 平成26年度の運営費の増加の要因として、7月から障害者雇用で、臨時職員を採用し、その賃金を計上したため運営費の増額となった。 展覧会を開催する際の運営費の抑制策として、他の美術館との共同開催及び作品借上料の縮減交渉等を行いつつ、今後も最小の経費で効果が得られるような展覧会を企画する。 光熱水費等の経常経費についてはホール照明の間引き点灯、事務室のこまめな消灯、事務機器のこまめな電源OFF等の節減対策を続けていく。</p> <p>◇湯之奥金山博物館</p> <p>①施設使用料等の向上目標 下部温泉郷の集客減及びJR下部温泉駅の無人化の影響も少なからずあり、博物館への来館も減少したと考えられる。マイカー利用のお客様をターゲットに、周辺観光地・施設等への割引券付パンフレットの掲出を新規に依頼、マスコミへのきめ細やかな情報発信、ゆるキャラを前面に出すPR活動、県内小中学校のみならず県外学校への校外学習の場の情報提供など、これまで以上の努力が必要であり、この取り組みを重点的に進めていく。また、売店商品の内容の精査・見直しを進め、オリジナルキャラクターグッズ等の利益率の高い商品の販売を推進していく。</p> <p>②管理運営費の抑制目標 平成9年4月の開館より18年が経過し、機器設備・躯体(建物)の経年劣化による不具合が徐々に増えてきている。計画的な修繕を進め、異常の早期発見による努めていく。また、節電にもこれまで同様に取り組む、「ムダ」の有無をその都度検証しながら経費削減に努めていく。</p>
10		早急なまったなしの財政改革には「箱物行政」に対するビジョンが重要である。お聞きしたい。	財政課	身延町総合計画に基づき、「安らぎと 活力ある ひらかれたまち」の建設に向け、各種施策を実施し、公共施設等の整備も行っているところであります。新たな公共施設の整備には、事業の必要性や効果を十分検討するとともに、財政状況等を十分考慮し、既存の公共施設の有効利用も含め、総合的に勘案し、効率的な整備を進めることが重要です。厳しい財政状況の中で、老朽化した既存施設の管理につきましては、今後策定する公共施設等総合管理計画で、改修、賃貸、解体など具体的な方針を定めていく予定であります。



NO	質問項目	質問内容	担当課	回答
11	別表3 ①及び② 高齢者保養施設(門野の湯)	・利用料改定後の利用状況・収支の状況は？ ・有料利用者が増えないようですが、誘客への対応はどうしていますか？ ・福祉保健課などとのタイアップは考えられますか？又は身延支所から福祉保健課への担当変更等は考えられますか？	身延支所  福祉保健課	門野の湯の利用者平成8年度38,137人をピークに年々減少しています。平成26年度の利用者は19,952人、内、70才以上の高齢者の利用は、15,397人でありました。本年4月から入浴料を100円ずつ値上げをさせていただきました。今まで無料で利用できました70才以上の高齢者の皆様の入浴料は200円としました。昨年度の(4月から6月の3ヶ月間の利用者数5,060人)と比較しますと777人少ない4,283人の利用状況であります。また、収入面で比較しますと、同様に昨年度の(4月から6月までの3ヶ月間の入浴料収入282,150円)と比較しますと678,250円増の960,400円です。料金を値上げしたことによる利用人数の減かもしれませんが、運営面では、収入が増えることが予想できます。町のホームページやパンフレット、東電の電柱に看板の設置等によりPRはしていますが、より利用者数を増やすように国道52号の大城交差点付近の上下線と県道大城小田船原線の3ヶ所の案内看板の設置を今年度計画しています。  保健師の訪問活動の中で、門野の湯を月に一度利用するのがとても楽しみだと話してくれる高齢者もいらっしゃいます。温泉施設は、身体の疲れを癒すばかりでなく、利用者同士の交流を通して、心の健康保持にも効果があると評価しています。 福祉保健課としては、例えば介護予防の観点から、他者との交流が少なく家に閉じこもりがちな高齢者に、門野の湯の利用をお勧めするなどの働きかけを今後も継続するとともに、社会福祉協議会が実施する「福祉バスの送迎事業」に対する支援(補助金交付)を行ってまいります。 また、集落敬老事業などの団体利用の際に、健康教室や介護予防教室などの要請があれば、可能な限り保健師等を派遣してまいります。施設の管理運営は身延支所が担当していますが、各種事業の取組みについては、協議をしながら行っていきます。よって、担当変更は考えていません。
12	別表3 ①及び② 湯之奥金山博物館	改修費は別としても利用料と運営費が均衡するような方策は考えられませんか？ たとえば指定管理にするとかは？	生涯学習課	湯之奥金山博物館は、日本で最初に金鉱石から金を採掘した山金山(国指定史跡・中山金山を含む3金山)の全容(歴史事実)を学術的に調査・研究・公開する教育的施設として開館しました。また、施設が立地する下部温泉郷の活性化にも寄与することを目的としています。 建設時の目的である学術面(調査・研究、その成果と活用)だけの運営形態は利益を生み出すものではないため、地域の活性化をも図るべく観光的要素に向けても力を注いできた経緯があります。館では、資料等の展示観覧(見学)だけでなく「歴史に参加する」博物館との観点から、産金に係る砂金採り体験が来館者を惹きつけ入館料売上に大きく貢献しているところです。入館料を単に上げるという選択は、入客減を招くことが高い確率で想定されます。 現在、当施設は教育施設として運営されていますが、今後、観光に傾注した利益主義に主眼をおく場合には、指定管理者制度の導入も含めて検討する必要があると考えます。
13	別表3 ①及び② 総合文化会館	・身延町の歴史、文化の発信基地として、利用者数の増大に力を入れてください。 ・身延山との連携も必要かと思えます。	生涯学習課	会館の利用者数においては、平成25年度は25,501人、平成26年度は26,751人と増えています。今後、さらに利用者の増加をはかるため、定期的利用者に加え新規利用者の開拓をHP、掲示物、口コミ等の方法で取り組んでいきたいと考えています。(貸館のホール・施設利用者の新規開拓)。 また、身延山との連携については今年で19回を数える「身延山大学公開講座」を会館を会場として開催していますが、今後、連携してどのような形で歴史・文化を発信できるか考えていきます。
14	別表3 ①及び② なかとみ和紙の里	・もう少しで収支均衡するかと思えます。地元創生事業としても和紙文化の発信に力を入れてください。 ・観光課とのタイアップ、担当変更等も可能ではないでしょうか？	生涯学習課	なかとみ和紙の里は、活性化施設(紙屋・漉き屋)・現代工芸美術館・特産品販売所(味菜庵)の三つの施設によって構成されています。 活性化施設の運営は、紙すき体験・和紙類商品販売が主な収入となっており、日々、体験メニュー及び販売商品の選択・開発に取り組んでおり、今後も訪れる皆様のニーズを把握しながら収入の確保に努めていきます。
15	別表3 ①及び② なかとみ現代工芸美術館	・美術館としての利用者増をしてください。 ・和紙の里との差別化が必要かと思えます。	生涯学習課	なかとみ現在工芸美術館は、なかとみ和紙の里の一施設として位置付けられ、文化・芸術の発信拠点として運営を行っています。毎年展覧会を開催していますが、社会情勢等の影響を受け、これが利用者の増減に直結していますが、魅力ある企画展を行うことにより今後利用者の増加に向けての取り組みを進めていきます。
16	別表3 ①及び② 木喰の里微笑館	・木喰さんの知名度からして“もったいない”の一言です。 ・道の駅しもべの敷地内に移転するか、ホテルドームを改修して移設するとかを考えた方が良いかと思えます。	生涯学習課	微笑館が地理的な制約から入館者が少ないのは事実であり、“もったいない”というご意見は入館者からも多く頂戴します。しかし、入館者の中には、「木喰上人誕生地の丸畑にあるからこそ魅力もあるのだ」という意見をお持ちの方もおられます。木喰仏はじめ微笑館の展示資料を一般的な美術工芸品と同じように捉え道の駅等へ移設することも可能かもしれませんが、しかし、木喰仏は信仰の対象として丸畑で守られてきたということも忘れてはならないと考えます。展示資料の一部は県指定文化財に指定されておりますが、その価値は生誕地丸畑で保存されてきたという歴史や文化そのものにあります。ご意見のとおり木喰上人は全国に誇り得る本町の数少ない歴史文化資源の一つです。その取扱いを間違え、反って町の名を汚すことのないようにしなければなりません。現在丸畑住民は高齢化が進んでおり、個人宅等で所有・管理されている仏像については、将来的な保存に不安を抱えています。今後も引き続き地域住民と対話を重ね、いかに「木喰さん」の遺徳を後世へ伝えていくかを課題として取り組んでいきます。
17	別表3 ①及び② なかとみ青少年自然の里	施設の性格から利用者増へ注力してください。	生涯学習課	通年の施設利用の案内に加え、昨年利用の県外小学校への案内や主催事業の内容の見直しや実施回数を増やすことにより利用者増加を図っています。 主催事業においては、参加者少数のスタンドグラスやバードウォッチングをやめ、希望の多い燻製・ソーセージを1回から2回に増やし、新たに親子体験の宿泊事業を復活し、ちょっと体験に『そば打ちと枝豆収穫体験』を加え利用者の増加に努めています。 H27、15回⇒H28、16回